



迎

春



皆さんの声を議会に
そして町政へ

平泉町議会議長 佐藤 孝悟



各事業を
皆さまとともに

平泉町長 青木 幸保

新年おめでとうございます。皆さまにおかれましては、穏やかなお正月をお過ごしのことと思います。

また、日頃より議会活動に御協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、昨年は、ラグビーW杯日本大会に、世界から多くの観客が訪れ成功裏で幕を閉じました。ラグビーのルールを知る人も知らない人も一緒に応援し、一瞬でも世界が一つになったことを感じた方もいたかもしれません。いよいよ、今年はスポーツの祭典、オリンピックの年です。多くの方が訪れ、日本の良さを感じ取ってもらえると思います。この大会を通じて、少しでも多くの観光客が東北地方を訪れ、東北の魅力を発信していただければ、これからのインバウンド観光に弾みとなるものと思います。

昨年、高田前工業団地に企業誘致が決定しました。工場完成後の国道4号へのアクセスが心配されておりますが、車の動向により変わっていくものと思います。また、今進捗しております大型事業では、令和3年3月に平泉スマートインターチェンジが供用予定であり、それに伴って周辺開発もより進んでいくものと思います。社会教育施設の建設は、令和4年7月の開館を目指しており、当町で初めて取り入れるDBO方式、公設民営方式で少しでも経費節減になればと思います。

新年にあたり、ごあいさつを申し上げます。皆さまには、新たな希望を胸に新春をお迎えしたとお慶び申し上げます。また、日頃より町政に対しましてご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。

本年は、未曾有の被害をもたらした東日本大震災から9年目を迎えますが、復興五輪を掲げる東京オリンピックが開催されます。聖火ランナーは沿岸被災地から当町も走りますので、町を挙げて一体感を持って応援してまいります。

さて、昨年は、高田前工業団地に有価会社平安輸送の企業立地が決定いたしました。これによりまして工業団地に空きスペースがなくなつたことから、南側地区の第2次造成を開始したところです。そこに新たな企業を誘致する予定ですので、ご期待いただければと思います。その際には、雇用の確保についてご協力をよろしくお願いいたします。

庁舎内を顧みますと、民間活力を活用して建設することとした公民館と図書館などにつきましては、設計と建設を行う事業者を選定、最上位計画である総合計画策定の検討を開始、スマートインターチェンジの建設推進、全21行政区を回つての地域懇談会の開催、地域の公共交通の見直し検討、町民アンケートの実施など多くの事業が行われた年でした。今後もこのような取り組みを推進し、より良いまちづくりにつなげてまいります。

また、来年に世界遺産登録10周年を迎えるにあたって、実行委員会を立ち上げました。今年からプレイベントを開催し盛り上げていきます。震災復興も大きな一つのテーマですので、沿岸被災地の方々の方に

なれるように取り組んでまいります。

今年、大型事業が目に見え始めます。公民館と図書館などにつきましては、ご意見を頂戴しながら実施設計を進め、10月ごろから建設工事に入る予定です。並行して建設する用地の買収、発掘調査を実施いたします。

平泉スマートインターチェンジの建設工事は、終盤に向かいますし、周辺に設けられます大型駐車場につきましても、進めてまいります。

交通弱者対策につきましては、地域住民やタクシー関係者などによる地域公共交通会議を設置し、地域の特性や高齢化率などの要因を加味して検討を進めておりますが、バス路線の維持や民間事業者を圧迫しないさまざまな方策を組み合わせ、より多くの方々の移動手段の確保に努めます。

新平泉町総合計画後期基本計画におきましては、最終年の5年目に当たるため、これまでの目標の達成状況を細かく分析するなど、総括に向けた取り組みを進めます。その上で、昨年に頂いたアンケートなどによる多くの町民の声を反映させ、未来に夢と希望を持てるような2021年から10年間の基本構想、前期基本計画の策定を行ってまいります。

このように本年は、皆さまとともにまいりました種が芽吹き、大きなつぼみを付ける年です。その内容や進捗状況につきましては、機会を捉えて報告し、たくさんのご意見などを頂戴しながら、進めていく所存ですので、今後ともお力添えをお願い申し上げます。

結びになりますが、本年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈りいたします。

また、柳之御所資料館跡に県が建設されます「平泉の文化遺産」ガイダンス施設(仮称)の完成予定は、令和3年7月となっております。この施設が、「平泉」の価値を広く世界中に伝え、人類の共通の財産として後世に継承するための拠点となり、同時に平泉文化の調査・研究と研究者の交流の場となることを期待いたします。さらには、道の駅の相乗効果となり、人々を誘導できるようなれば幸いです。

今年、町議会議員選挙の年です。民主主義の原点は、住民であり選挙であります。議員のなり手がいないと言われている中で、紫波町議会では昨年の選挙において、18人の定数に7人の女性議員が当選しております。神奈川県の大磯町議会においても女性議員が過半数を占めており、少しづつではあります。女性の参加が見られます。当町においても、女性の参加する環境を整え、被選挙人として多くの方に立候補していただきたいと思っております。

住民と共に歩む議会として、開かれた議会、信頼される議会を目指して参りますので、今後とも、平泉町議会をよろしくお願ひ申し上げます。

結びになりますが、平泉町にとって災害のない素晴らしい年でありまして、皆さま方の、ご健勝ご多幸を祈念しまして新年のごあいさつといたします。